

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分  
 【発行日】平成20年5月1日(2008.5.1)

【公開番号】特開2006-269497(P2006-269497A)  
 【公開日】平成18年10月5日(2006.10.5)  
 【年通号数】公開・登録公報2006-039  
 【出願番号】特願2005-81607(P2005-81607)  
 【国際特許分類】

H 0 1 L 21/68 (2006.01)

H 0 1 L 21/66 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/68 F

H 0 1 L 21/66 J

【手続補正書】  
 【提出日】平成20年3月14日(2008.3.14)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

収納体から取り出された基板を搬送手段により処理装置本体に受け渡す工程と、該処理装置本体において前記基板の適宜処理を行う工程と、適宜処理を行った前記基板を前記搬送手段により前記収納体に戻す工程とを備える基板処理装置の基板収納方法において、

前記基板を前記搬送手段から前記処理装置本体に受け渡す工程から、前記基板を前記収納体に戻す工程の前までに、前記搬送手段における前記基板の正規位置に対する前記基板のずれ量を算出する工程と、

前記処理装置本体において前記基板の適宜処理を行う工程の後から、前記基板を前記収納体に戻す工程までの間に、算出された前記ずれ量に基づいて前記収納体への前記基板の戻し位置を補正する工程とを備えることを特徴とする基板処理装置の基板収納方法。

【請求項 2】

前記基板のずれ量を算出する工程が、前記処理装置本体から前記搬送手段に前記基板を受け渡す工程の前までに行われることを特徴とする請求項1に記載の基板処理装置の基板収納方法。

【請求項 3】

前記ずれ量に基づく前記基板の戻し位置を補正する工程が、前記処理装置本体から前記搬送手段に前記基板を受け渡す工程において、前記ずれ量に基づいて前記基板を前記搬送手段における正規位置に配する工程であることを特徴とする請求項 2 に記載の基板処理装置の基板収納方法。

【請求項 4】

前記搬送手段が、前記処理装置本体内で前記基板の搬送を行う第 1 の搬送部と、該第 1 の搬送部及び前記収納体との間で前記基板の搬送を行う第 2 の搬送部とを備え、

前記基板のずれ量を算出する工程が、前記第 1 の搬送部から前記第 2 の搬送部に前記基板を受け渡す工程の前に、前記第 2 の搬送部における前記基板の正規位置に対するずれ量を算出する工程であることを特徴とする請求項 1 に記載の基板処理装置の基板収納方法。

【請求項 5】

前記ずれ量に基づく前記基板の戻し位置を補正する工程が、前記第 1 の搬送部から前記

第 2 の搬送部に前記基板を受け渡す工程において、前記ずれ量に基づいて前記基板を前記第 2 の搬送部における正規位置に配する工程であることを特徴とする請求項 4 に記載の基板処理装置の基板収納方法。

【請求項 6】

前記ずれ量に基づく前記基板の戻し位置を補正する工程が、前記第 2 の搬送部から前記収納体に受け渡す工程において、前記ずれ量に基づいて前記収納体に対する前記第 2 の搬送部の位置を補正する工程であることを特徴とする請求項 4 に記載の基板処理装置の基板収納方法。

【請求項 7】

収納体から取り出した基板に適宜処理を施す処理装置本体と、  
前記処理装置本体から前記基板を収納する収納体に前記基板を搬送する搬送手段と、  
前記搬送手段における前記基板の正規位置に対する前記基板のずれ量を算出するずれ量算出手段と、  
前記ずれ量算出手段において算出された前記ずれ量に基づいて、前記収納体への前記基板の戻し位置を補正するずれ量補正手段とを備えることを特徴とする基板処理装置。

【請求項 8】

前記ずれ量算出手段は、前記処理装置本体から前記搬送手段に前記基板を受け渡す位置にあることを特徴とする請求項 7 に記載の基板処理装置。

【請求項 9】

前記搬送手段は、前記処理装置本体内で前記基板の搬送を行う第 1 の搬送部と、該第 1 の搬送部及び前記収納体との間で前記基板の搬送を行う第 2 の搬送部とを備え、  
前記ずれ量算出手段は、前記第 1 の搬送部から前記第 2 の搬送部に前記基板を受け渡す位置にあることを特徴とする請求項 7 に記載の基板処理装置。

【請求項 10】

前記ずれ量補正手段は、前記第 1 の搬送部から前記第 2 の搬送部に前記基板を受け渡す際に、前記ずれ量に基づいて前記基板を前記第 2 の搬送部における正規位置に補正するように制御することを特徴とする請求項 9 に記載の基板処理装置。

【請求項 11】

前記ずれ量補正手段は、前記第 2 の搬送部から前記収納体に受け渡す際に、前記ずれ量に基づいて前記収納体に対する前記第 2 の搬送部の位置を補正するように制御することを特徴とする請求項 9 に記載の基板処理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するために、この発明は、以下の手段を提供する。

本発明は、収納体から取り出された基板を搬送手段により処理装置本体に受け渡す工程と、該処理装置本体において前記基板の適宜処理を行う工程と、適宜処理を行った前記基板を前記搬送手段により前記収納体に戻す工程とを備える基板処理装置の基板収納方法において、前記基板を前記搬送手段から前記処理装置本体に受け渡す工程から、前記基板を前記収納体に戻す工程の前までに、前記搬送手段における前記基板の正規位置に対する前記基板のずれ量を算出する工程と、前記処理装置本体において前記基板の適宜処理を行う工程の後から、前記基板を前記収納体に戻す工程までの間に、算出された前記ずれ量に基づいて前記収納体への前記基板の戻し位置を補正する工程とを備えることを特徴とする基板処理装置の基板収納方法を提供する。

なお、処理装置本体における基板の処理とは、例えば、基板の製造や検査処理のことを示している。